

水循環再生の取組

あいち水循環再生基本構想と 水循環再生地域協議会



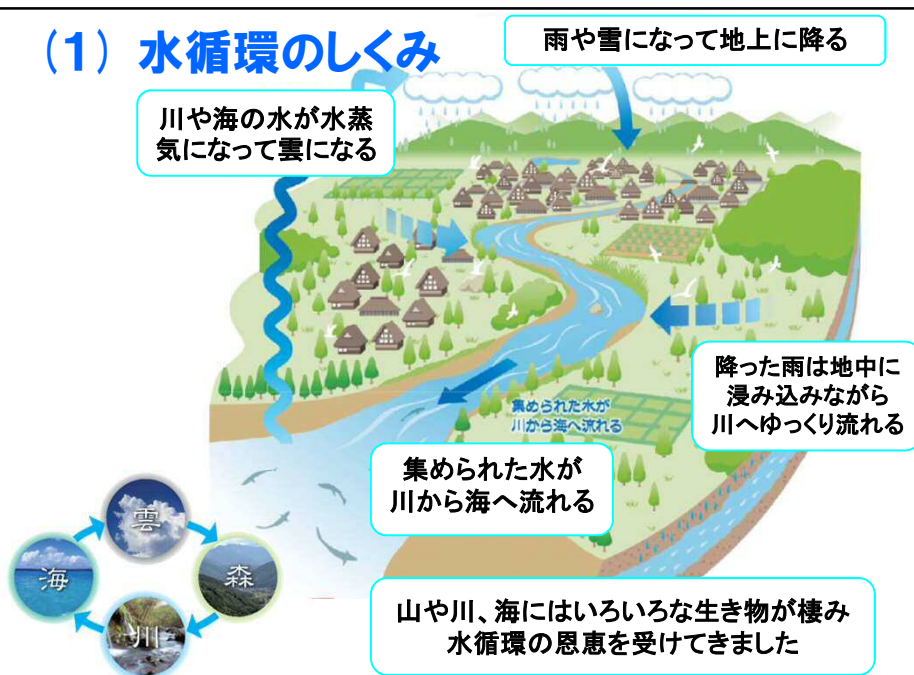
あいち水循環再生基本構想と 水循環再生地域協議会

- 1 水循環の再生
- 2 愛知県の水環境の状況
- 3 愛知県の水質保全施策
- 4 あいち水循環再生基本構想
- 5 水循環再生のための取組
- 6 流域モニタリング一斉調査

1 水循環の再生

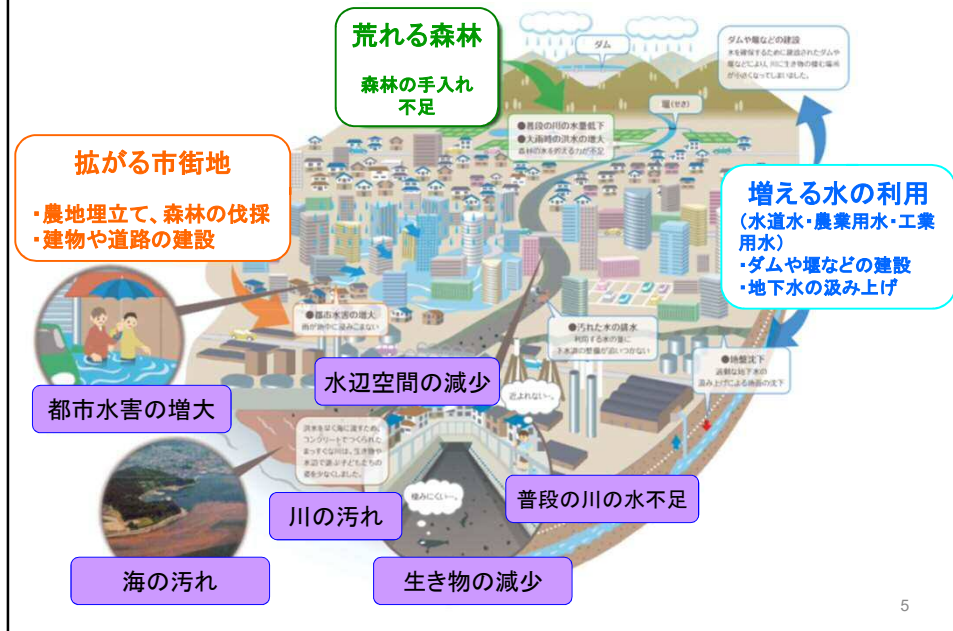
3

(1) 水循環のしくみ



4

(2) 水循環の問題



5

(3) 健全な水循環を取り戻すために

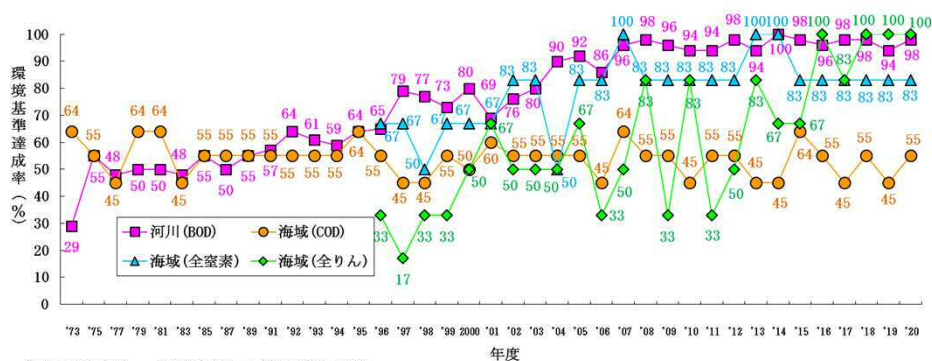


6

2 愛知県の水環境の状況

7

(1) 水質環境基準の達成率(県全域)



(注) 達成率(%) = (達成水域数) ÷ (総水域数) × 100
(資料) 環境局調べ

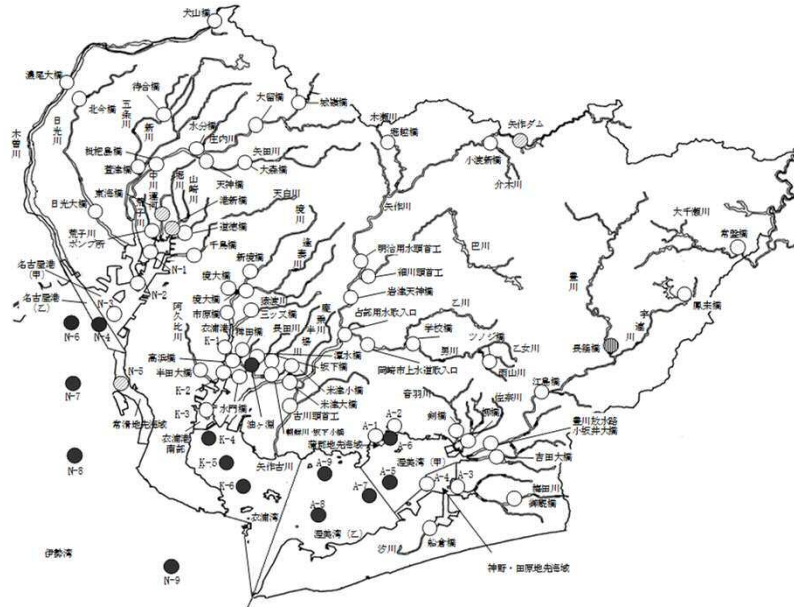
(注) 達成率(%) = (達成水域数) ÷ (総水域数) × 100

<達成率の長期的な推移>

- ・ 河川のBODは改善傾向(ここ数年間は90%以上を維持)
- ・ 海域のCODは概ね横ばい、全窒素及び全磷は改善傾向

8

(1) 水質環境基準の達成率(県全域)



9

(2) 赤潮の発生

赤潮 プラクトンが異常に増殖し、海や川、運河、湖沼等の色が赤色や褐色に変色する現象。



10

(3) 苦潮(青潮)の発生

苦潮(青潮)

海底付近の貧酸素水塊が、強い風などにより表層に湧き上がり、海面が青色に変色したり白濁する現象。魚や貝の大量死など大被害をもたらすことがある。



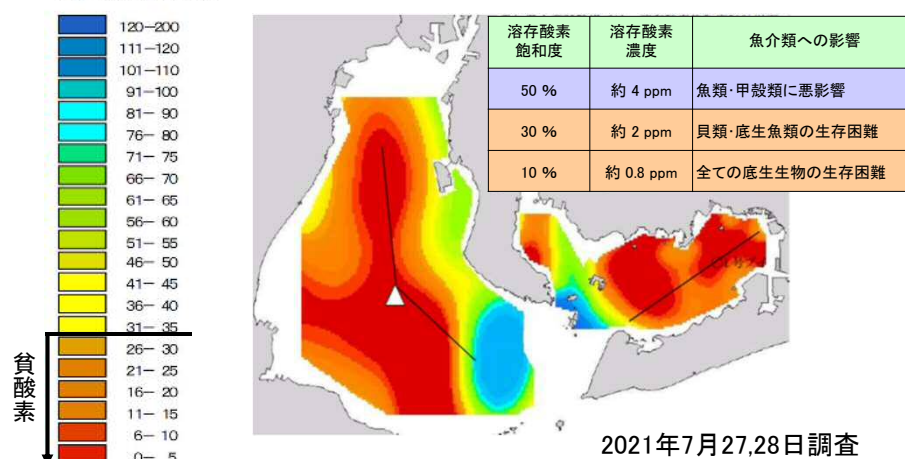
11

(4) 貧酸素水塊

貧酸素水塊

魚介類が生存できないくらいに溶存酸素濃度が低下した水の塊

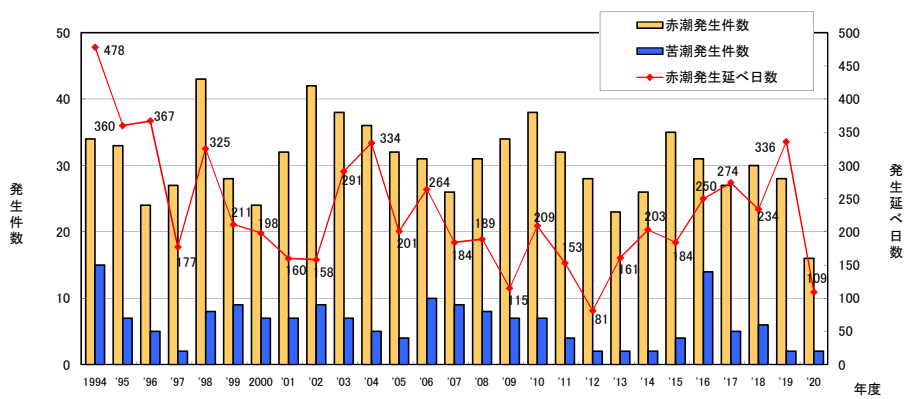
溶存酸素飽和度(%) 県水産試験場では、30%以下の水域を貧酸素水塊と定義



出典: 伊勢・三河湾貧酸素情報(R3-6号) (愛知県水産試験場)

12

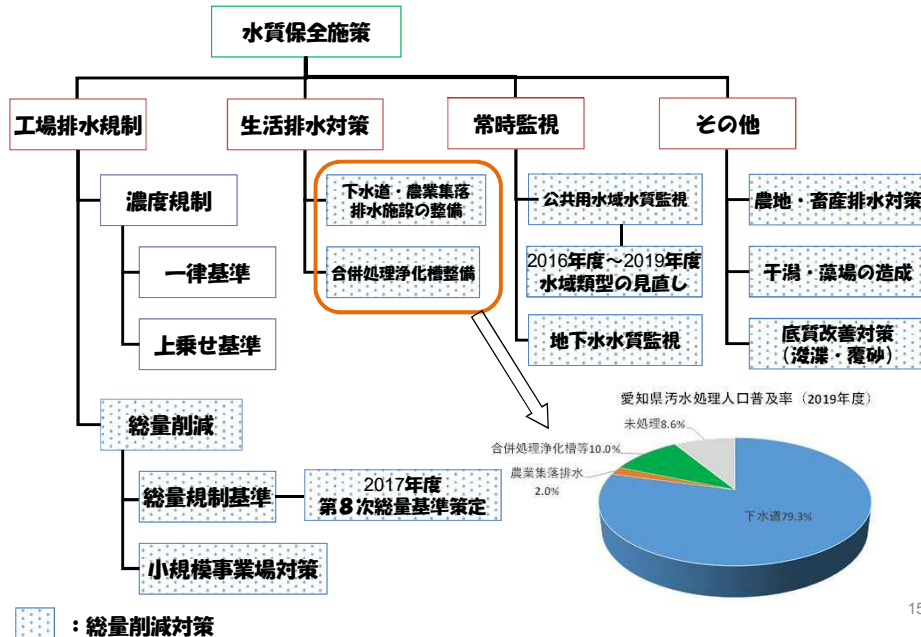
(5) 伊勢湾・三河湾の赤潮・苦潮の発生状況



資料：農業水産局調べ

3 愛知県の水質保全施策

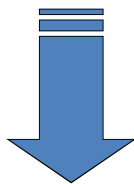
(1) 愛知県の水質保全施策



15

(2) 水質保全対策を進める上での視点の転換

場の視点



流れの視点

- 工場の排水規制などの限られた場所や、環境・治水・利水などの**限定した側面を捉えて**、各分野ごとに対策を実施
- 上流から下流までの水の流れを考慮し、**流域全体で水循環の機能に着目した取組**を総合的に実施
- 総合的な視点に立ち、**各主体が連携**して事業を実施

2006年3月に「**あいち水循環再生基本構想**」を策定

16

4 あいち水循環再生基本構想

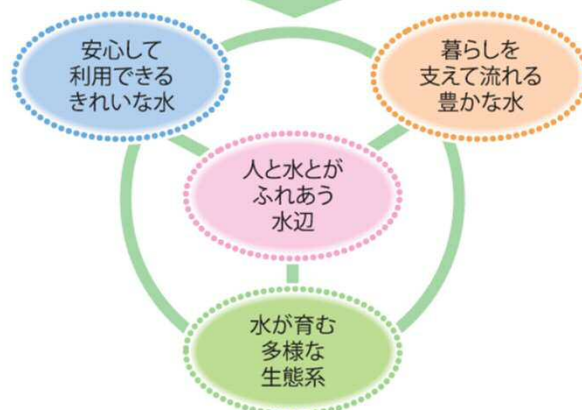
17

(1) 基本構想の「目標」と「めざす姿」

【目 標】

人と水との豊かなかかわりの回復・創造

【めざす姿】



18

(2) 基本構想のイメージ

●取組の方向性イメージ図

取組活性化のための方策

- ① 環境学習の推進
- ② 情報の共有化
- ③ 県民・事業者・民間
団体・行政等の協働
- ④ 取組の検証・拡充

【場所ごとのテーマ】
取組

① 森林の整備・保全

② 農地保全

③ まちづくり

④ 海づくり

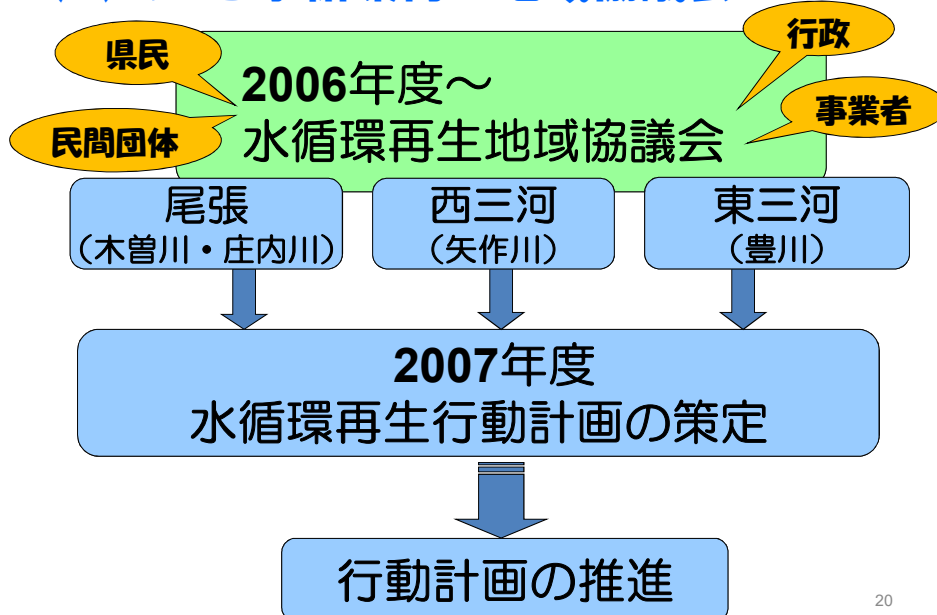
取組

【健全な水循環の機能】



19

(3) あいち水循環再生地域協議会



20

(4) あいち水循環再生地域協議会

水循環再生地域協議会

尾張
(木曽川・庄内川)

西三河
(矢作川)

東三河
(豊川)

- 2006年度から3地域ごとに毎年1回開催
- 水循環再生に関する取組・活動状況の総括、
取組点検指標による行動計画の進捗確認、
事例紹介、啓発活動の報告、
構成員相互の意見交換、情報交換など

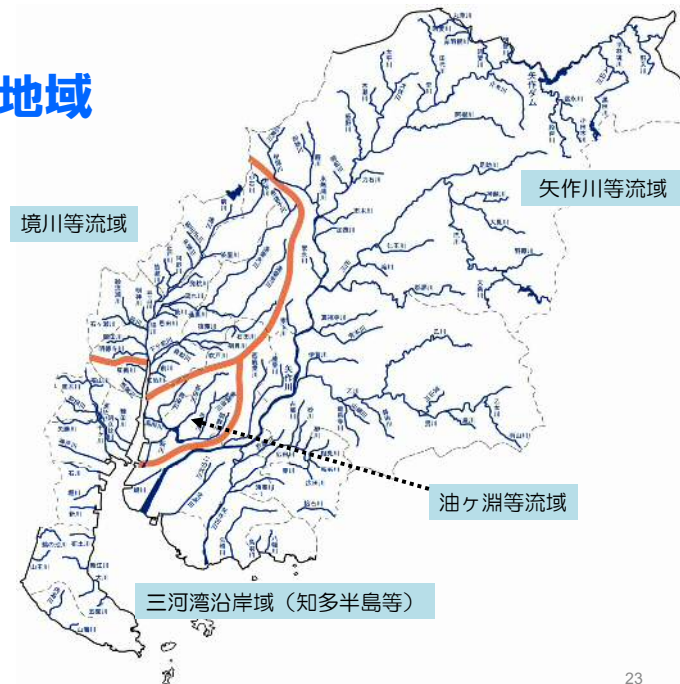
21

(4) -1 尾張地域



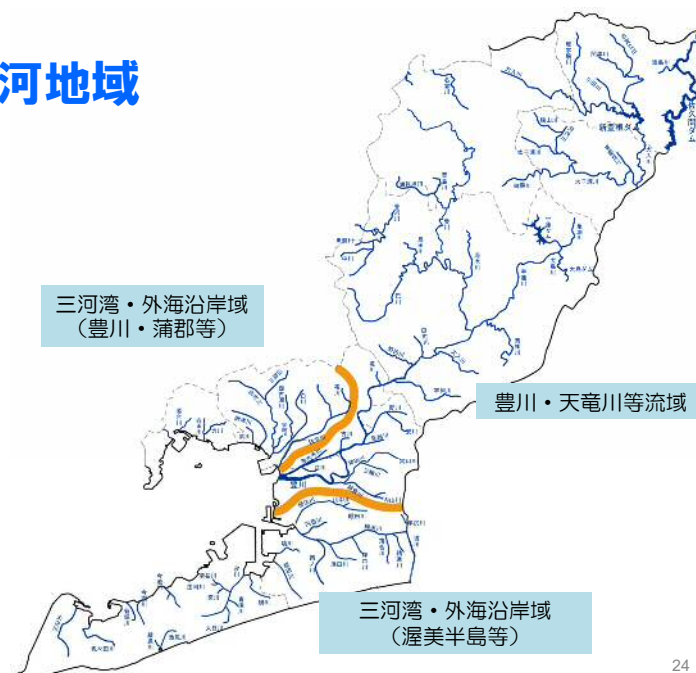
22

(4) -2 西三河地域



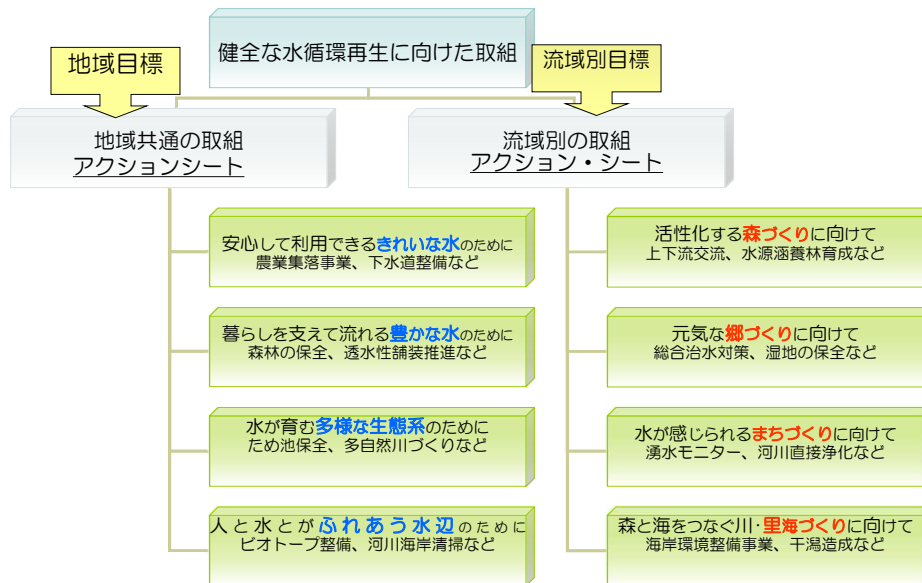
23

(4) -3 東三河地域



24

(5) 水循環再生行動計画の構成



25

(6) 現在までの協議会の経緯

- 2005年度 水循環再生基本構想 策定
- 2006年度 水循環再生地域協議会 設立
- 2007年度 水循環再生行動計画(第1次)策定
- 2008年度 取組点検指標 作成
- 2009年度 流域モニタリング一斉調査 開始
- 2011年度 水循環再生行動計画(第2次)策定
- 2015年度 水循環再生行動計画(第3次)策定
- 2019年度 計画見直しに向けての勉強会の開催
- 2020年度 水循環再生行動計画(第4次)策定

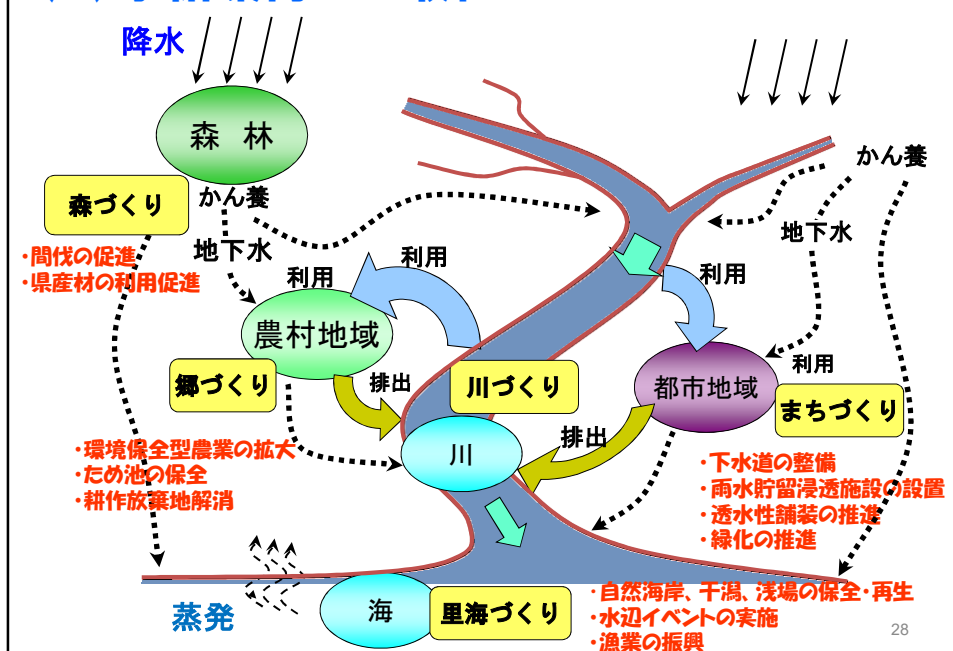
＜毎年度実施＞流域モニタリング一斉調査、取組点検指標による進捗確認、行動計画の見直し

26

5 水循環再生のための取組

27

(1) 水循環再生の取組



28

6 流域モニタリング一斉調査

29

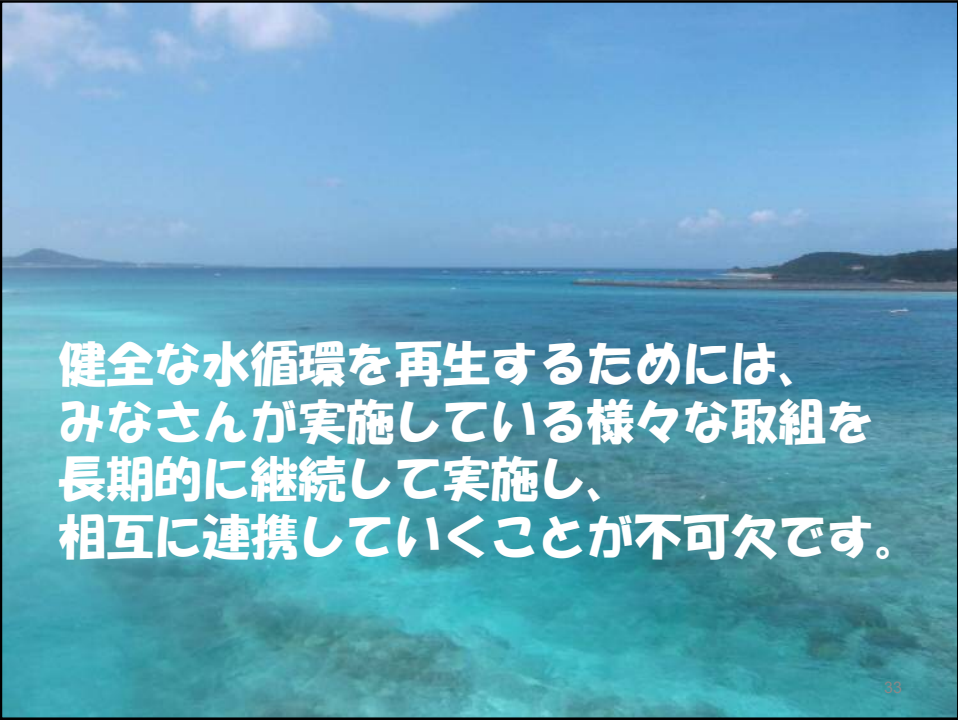
(1) 県民参加の取組

「流域モニタリング一斉調査」

- (1) 水質(きれいな水)
水の汚れ(CODパックテスト)、水の色、濁り、におい、泡・油膜、水底の感触
- (2) 水量(豊かな水)
水深、流れの変化、流速、湧水(過去に確認された場所のみ採用)
- (3) 生態系(多様な生態系)
水質階級(水生生物調査)、魚の調査、
植生調査(水際、水辺周辺)、
鳥や昆虫の調査、外来種調査
- (4) 水辺(ふれあう水辺)
透視度、ごみの状況、水辺の利用の
しやすさ、水辺への近づきやすさ、
水辺の自然度、水辺景観(心地よさ)、
水辺での活動(①散歩、レジャー、
②環境学習 ③環境保全活動)



30



**健全な水循環を再生するためには、
みなさんが実施している様々な取組を
長期的に継続して実施し、
相互に連携していくことが不可欠です。**